

2020年度版

高田自治会 防災マニュアル

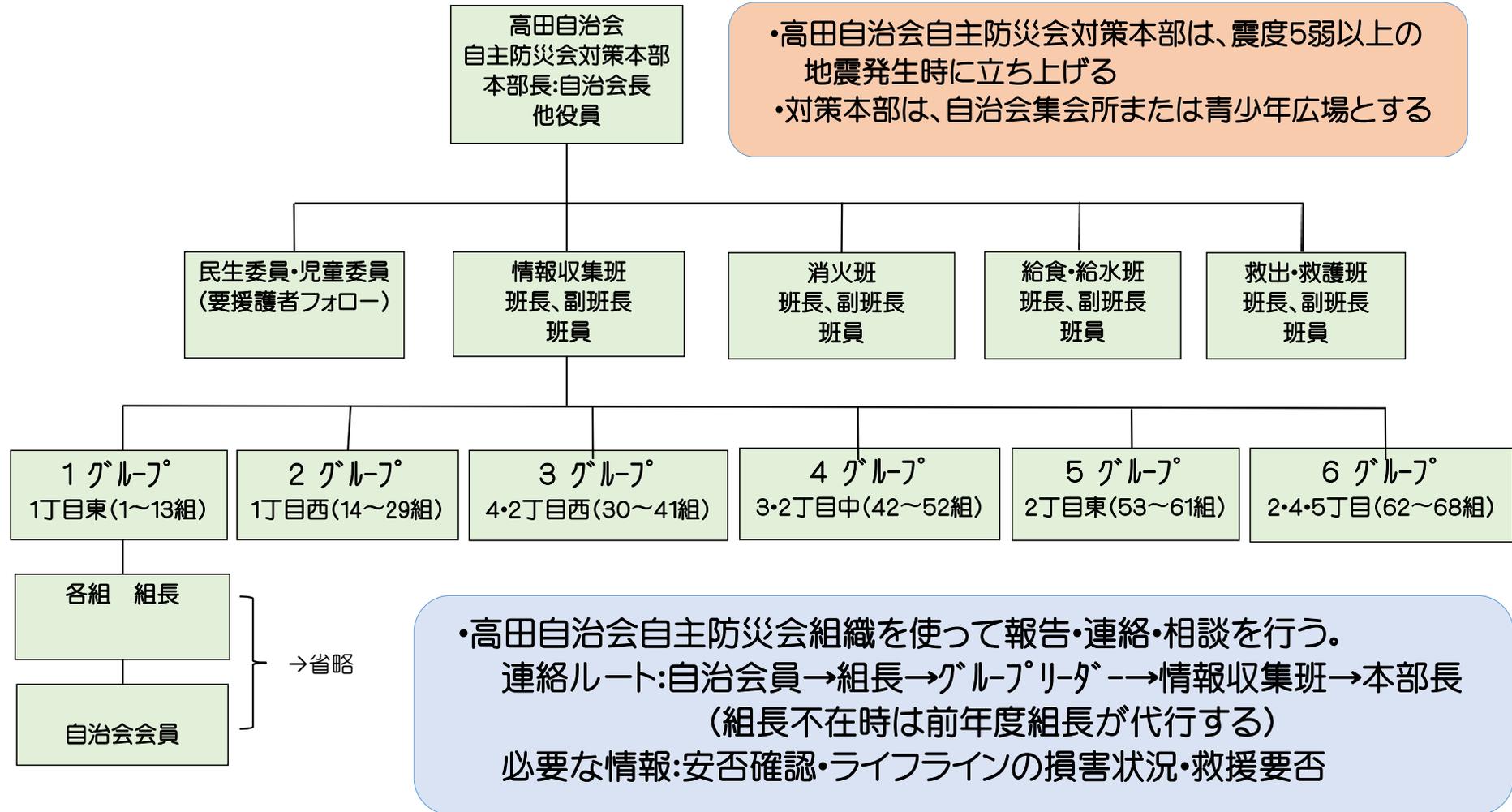
目次

- P 2 高田自治会自主防災会組織
- P 3 高田地区で地震時予想される災害
- P 4 地震発生時の行動
- P 5 火災発生時の避難場所
- P 6 地震への備え
- P 7 風水害への備えと行動
- P 8 避難時の持ち出し品チェックリスト

高田自治会自主防災会



高田自治会自主防災会組織



高田地区で地震時予想される災害

圧死

家の倒壊や家具の下敷きで、地震直後に窒息死・圧死する。阪神・淡路大地震では、地震での死亡の8割がこの窒息死・圧死である。

火災

高田1丁目全域と2丁目の東側がクラスター（延焼運命共同体）となっており、火災発生時は全域焼失する可能性あり。火災が起きたら早めに広域避難場所（P5）に逃げる。

津波

茅ヶ崎市の沿岸部で、過去最大で7.8mの津波が発生したとされるが、高田まで到達した例は一度もないので可能性は低い。

液状化

高田全域で液状化の可能性はある。3段階でレベル2が大半で5丁目の一部でレベル3（可能性が高い）となっている。

塀の倒壊

コンクリート塀・ブロック塀で倒壊の可能性あり。地震発生時は速やかに塀から離れることが必要。

土砂災害

高田1丁目の高田緑地の南側一部と北側一部が土砂災害警戒区域として指定されている。豪雨や地震時にがけ崩れの被害を受ける可能性があるため、警報が出たら速やかに避難する。



重要ポイント

- ・地震時、生き残る対策を！
- ・家や家具の倒壊防止対策を！
- ・火災はすぐ消す。
- ・延焼時は近所に声かけ素早く逃げる。

地震発生時の行動



緊急地震速報(市防災無線、テレビ、携帯電話、防災ラジオ)を聞いたら直ぐに身構えて避難行動をとる

地震です
地震です

自分の命を守る

- ・屋内にいたら家具などの下敷きにならぬよう机の下などに避難し、揺れが収まるのを待つ。

家族の命を守る

- ・家族が倒壊物の下敷きになっていた場合は、近隣に応援を依頼する。
- ・119番に通報する。自主防災会に通報する。
- ・家族全員が無事な場合は、「無事ですカード」を玄関先に掲示する。

まず初期消火

- ・火事はすぐ消す！初期消火が最優先！
- ・消せない場合は、近隣に応援してもらう。
- ・火が天井まで来たら消火は無理。
- ・日頃、街頭消火器の設置場所を確認する。

隣近所の安全確認

大丈夫ですか？

- ・屋外に出て近所の様子を確認する。
- ・火災を見たら、最優先で消火する。
- ・倒壊した家があれば、取り残された人がいないか、大声で叫ぶ！
- ・相互に近所に声をかけ、安否確認する。
- ・救援が必要なら、119番に通報する。
- ・高田自主防災会本部にも要請する。
- ・避難の際は、電気ブレーカーを落とす。(阪神淡路大震災では通電火災が多発)

火災発生時は、広域避難場所に避難する。

(鶴が台中学校・鶴が台小学校・鶴が台団地エリア全体及び
円蔵中学校・円蔵小学校・鶴嶺高校・円蔵スポーツ広場等)

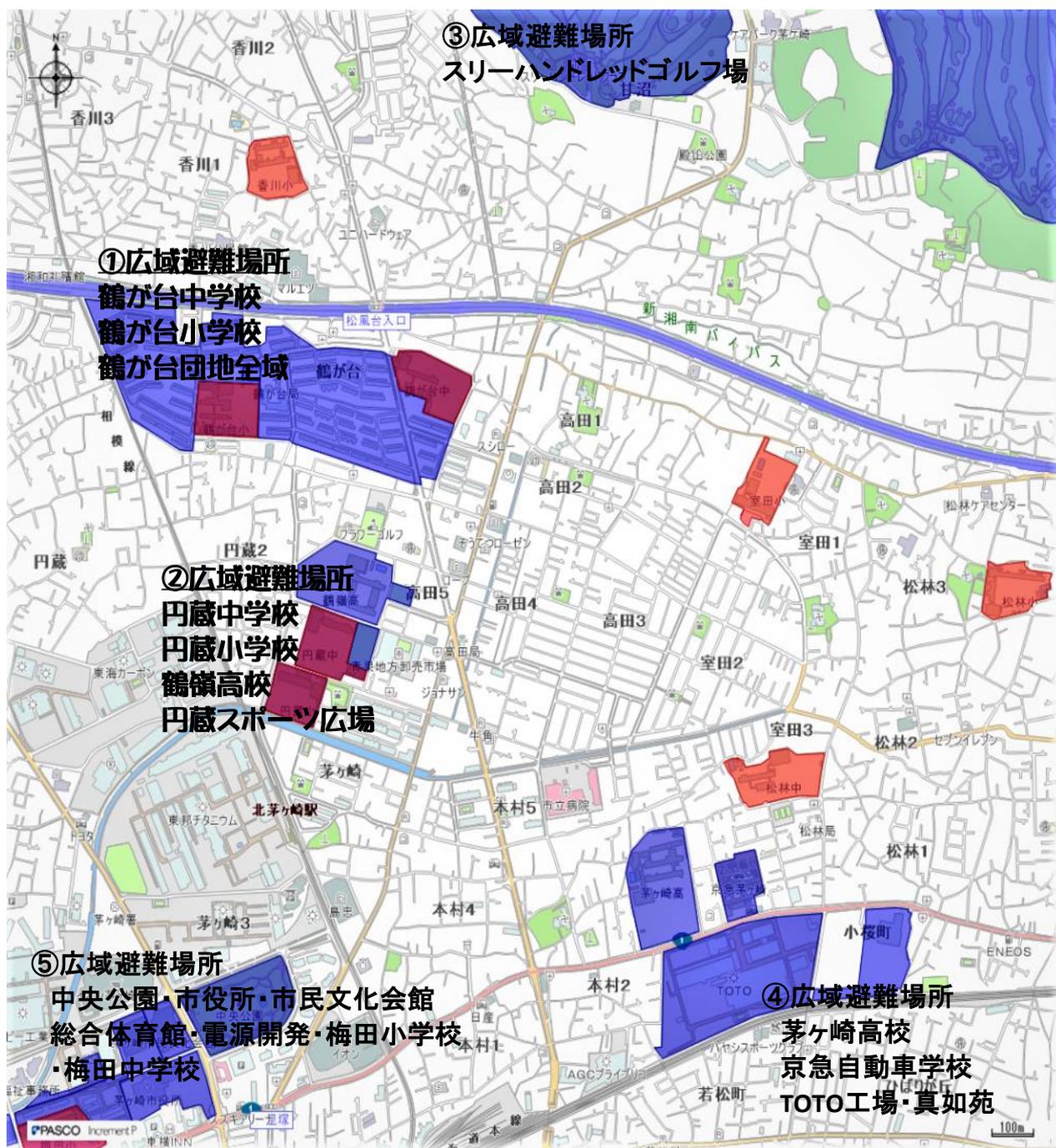
※避難する時、避難時持ち出し品(P8)を必ず持参する！

火災発生時の避難場所

火災が起きたら①②の広域避難場所へ避難する。

※ 避難する時は、避難用持ち出し品を持参する。

※ 自宅から近い広域避難場所を実際に歩いてみる。



地震への備え

1. 家の耐震補強を行う

即死しないため、昭和56年5月以前の建物は耐震補強をしましょう。

① 家の耐震診断をする。(補助金制度あり)

市へ申請すると自己負担は、家族全員が65歳以上は9,900円
それ以外は、35,900円で耐震診断が受けられる。

② 耐震補強工事

耐震診断レベル1以下で、補助金が出る。
補強工事の1/2(上限50万円)、家族全員が65歳以上は+20万円

問合せ先:市役所 建築指導課
0467-82-1111(内線2327・2328)



2. ケガをしないための備え

① 家具の固定

地震でのケガは、家具が原因!

※ リビングと寝室の家具は、必ず固定しよう。

茅ヶ崎市は、家具転倒防止金具取付事業を実施

65歳以上がいる、障害者がいる、12歳以下の子供がいる世帯
なら、無料で取り付けてもらえる。

(ただし、取付金具の代金は自己負担)

問合せ先:市役所 建築指導課
0467-82-1111(内線2327・2328)



② 寝室や居間の工夫

布団の位置や居間で長時間いる場所は家具の転倒方向を避ける。
二階建て住宅では二階で寝る

③ 室内ガラス

室内の食器棚や本棚のガラスに飛散防止フィルムを貼る

3. 避難する時の持ち出し品の準備

避難時、すぐに持ち出せるよう荷物をまとめておく

避難時の持ち出し品はP8を参照

4. 食料・生活用品は、1W分の備蓄

自宅での避難生活にそなえ、1週間分の食料と生活用品を備蓄する。

・水は1人1日3リットル
7日分で21リットル



・1人2Kgの米
普段から多めに備蓄して置く



・ガスコンロ
ガスボンベ10本

・便袋は、1人で35枚
・トイレットペーパーは、1人で3個



風水害への備えと行動

台風情報を 知る

大型台風に向けて
日頃から暴風雨の対策を行う！

ハザードマップで 浸水予測を知る

・ハザードマップでは、高田自治会の浸水被害が出る可能性は低い。
ただし、場合によって、予想を越える浸水が出るかも知れない。
その時は、市の避難指示に従うこと。

大雨でがけ崩れの危険あり (高田緑地)

・高田一丁目の高田緑地の周辺で、大雨によるがけ崩れの危険がある。
・普段から崖崩れに備え、崖から離れた2階などで休むようにする。
・避難警報が出たら、速やかに避難所へ行く。

強風で物が飛ばされないように備える

・物干し竿・植木鉢・自転車などを片付けておく。
・強風で、瓦が飛ばされる被害も想定しておく。
・屋根が壊れることも想定しておく。

隣近所の安全確認

・風雨が収まったら外に出て近隣の様子を確認
・倒壊した家があれば、取り残された人がいないか大声で叫ぶ！
・救助が必要なら、119番に通報する。
・高田自主防災会本部にも通報する。

- ・大型台風で家屋が危険な時は、公民館に避難する。
ただし、その時出される市指定の避難所へ行くこと。
- ・避難先は、安全な2階や親戚・知人宅も考えましょう。
- ・避難所へは、水・食料・薬など各自の必要物品を持参する。

避難時の持ち出し品チェックリスト

- 現金、通帳、印鑑、身分証明書、保険証 等
- 携帯ラジオ(防災ラジオ)
- 懐中電灯、ヘルメット
- 携帯電話、充電器
- 救急セット・常備薬
- 衣類(下着、タオル)
- 雨具・テント
- 筆記用具
- 食料(腐らないもので最低1日分)
- 水(1日分 1リットル)
- ティッシュ、ウエットティッシュ
- カイロ
- スリッパ
-
-

<高田自治会防災マニュアルの改訂にあたり>

高田自治会防災マニュアルは、平成27年度の改善項目として、防災リーダーを中心に自治会役員16名を編集委員とし、平成28年度版防災マニュアルをシンプルで理解しやすい内容で発行しました。

あれから4年が経過し、広域避難場所の追加と風水害への備えを追加し、2020年度版高田自治会防災マニュアル改訂版を編纂致しました。

自治会員の皆様は、この防災マニュアルを活用して地震への事前の備えを実施し、将来発生が予想される大地震を乗り切っていただきたいと思います。尚、お気づきの点がございましたら、何でも自治会役員に申し付けてください。機会をとらえて更に改訂して参ります。

編集責任者 福井達夫

高田自治会防災マニュアル(2020年度改訂版)

発行責任者： 森 俊彦

編集責任者： 福井 達夫

高田自治会防災マニュアル改訂プロジェクトチーム

福井達夫	斎藤和江	仁井田康雄	水越 豊	福岡貴久
沼田ユミ	山口 孝	野崎純一	横山恵子	上村純夫
森 俊彦				

改訂年月日 2020年12月
